

Young Adult 通信 vol.75

Young Adult 通信は中学生・高校生向けのお便りです。

特集テーマ

お金



⇒裏面へGO!



平成28年10月発行



2016YA通信キャラクター
“ブックman”

BLT (Book Loving Teens 本を愛するティーン) の活動

第3回 YA POP Club開催しました!(7/24)

本に対して、その魅力を伝えるPOPを作るイベントに、6名の中学生が参加してくれました。その作品は、本のPOP大募集として、市内公立中学校の皆さんに作っていただいたPOPと一緒に、YAコーナー、YAルームに9月29日まで展示しました。(『』は本のタイトルです。)



『図書館戦争シリーズ』



『君が電話をかけていた場所』



『ノードアート・オンライン』



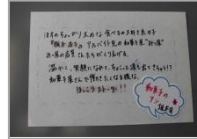
『アクセラ・ワールド』



『世界から猫が消えたなら』



『三毛猫ホームズの花嫁人形』



『和菓子のアン』



集中して作業中。

YA POP Clubで作成していただいた作品です!

「本のPOP大募集」で集まったPOPをYAルームに展示しました。

「本のPOP大募集」で集まった作品の一部です。



『しょていんさん』
どーなさん(一中)



『BOOKニャン!』
さかりよPさん(七中)



『軟体動物 (w*)』
や5ちゃんズさん(一中)



『ピョンピョン』
SNさん(一中)



『くうこくん』
びらみんさん(一中)

YA通信イラスト大賞 佳作作品 PART2



『ホンノ・ムッシー』
ヒヨコAさん(一中)



『まきゃっと』
紋梨さん(妙典中)



『ぬー』
とんとんさん(一中)



『本のように』 (左) なぎさとかえで (右) なつめ みかんさん(妙典中)



『くまりん』
まーちゃんさん(妙典中)



『爽やか系三兄弟』
Yuzuさん(一中)



『時計ウサギ』
さあしきわらしさん(七中)

【編集者のひと言】

\$ どうしよう、夢もお金もありません…。 \$ おうちの手伝いをしよう! \$ お金! きらびやかな響きですね～。

\$ 江戸時代の財政改革の第1弾は今様に言うなら、Yoshimunemicsか? \$ 本のPOP、ご協力たくさんありがとうございました!



お金



12月未までこのテーマの本を
ヤングアダルトコーナーで
展示しています♪

『日乃出が走る』 浜風屋菓子話 [1] 中島久枝／著 ポプラ社

明治2年、江戸の老舗菓子司橋屋は、時代の変化と当主の突然の死により店を閉めることになる。その一人娘だった16歳の日乃出は、他人の手に渡ってしまった父親の大事な掛け軸を取り戻すため、豪商の谷善次郎と“百日の間に自分の力で百両稼ぐ”という勝負をする。彼女は横浜の小さな店、浜風屋で父親の考えた幻の菓子「薄紅」を作って売ろうと奮闘。

大福一つ上手に包めないお嬢様の日之出は、はたして百両を用意して掛け軸を取り戻すことができるのか。お金を稼ぐ大変さと和菓子のことがよくわかる1冊。



『千ドルのつかいみち』(オー・ヘンリー ショートストーリーセレクション7) オー・ヘンリー／作 千葉茂樹／訳 和田誠／絵 理論社

若きジリアンは、伯父の遺産として千ドル(現代の価値で約140万円)を受け取った。その使い道は弁護士に報告しなければならない。ジリアンは、いつものクラブにいるプライソンや馬車の御者、盲目の鉛筆売りなどに千ドルあったら何に使うか聞いていくが、結局、想いを寄せていた伯父の被後見人ミス・ハイデンに千ドルすべて渡すことにした。そして報告のために法律事務所を訪れるが、弁護士に思いがけないことを告げられる。

オー・ヘンリーの短編集だが、他にお金がテーマの『金では買えないもの』も入っている。

『シーグと拳銃と黄金の謎』

マーカス・セジウィック／著 小田原智美／訳 作品社

シーグの父が急死した日、銃を持った男が訪ねてきて、父が男から盗んだ金をよこせ、と脅迫する。シーグが5歳だったころ、一家はゴールドラッシュで沸くアラスカのノームにいたが、金を見つけれず、貧しい一家は10年間世界中を転々としてきた。シーグの家に金はない。シーグは激高した男に殺されそうになる。殺すか、殺されるか。

富への渴望と狂気を背景に、シーグの子供のころの思い出、父にプレゼントされた銃など、ほぼすべてのエピソードが伏線となって、物語は第3の結末へ向かう。



『経済脳をきたえよう! こどもにもわかるレクシブック』

池内正人／著 日本経済新聞出版社

「経済」ってなに?一言で言えば、「経済」とは人間が社会生活をしていくうえで、物やお金などを手に入れたり使ったりすること。大きな話題となっている経済ニュースが流れても他人事に聞こえたり、興味があったとしてもよくわからない?でも、基本がわかっているらば理解できないことはありません。そんなの大人になってから?いいえ、そんなことはありません。お小遣いなどの家計をやりくりするのも立派な「経済」です。でもやっぱり難しそう?市場、会社から、財政、インフレまで分りやすい文で説明されていて、そんな不安を吹き飛ばしてくれる一冊です。



『正しいパンツのたたみ方 新しい家庭科勉強法』

南野忠晴／著 岩波書店

「お金」というテーマなのに、なぜ「パンツのたたみ方」なのでしょう?私たちが毎日生活するためになくてはならない「お金」。生徒に「生活力」をつけてほしいと思っている家庭科の教員である著者が、私たちが自分らしく生きていくための、お金とのつきあい方や、時間の使い方、家族とのかかわり方など、暮らしに沿ったアドバイスをしています。

心と身体が健康で、毎日をゆたかに生きるために、まず、洗濯物をたたむことから始めてみませんか。

